

森田穰君逝く

中嶋 博（昭和 40 年卒）

昭和 36 年同期入学・入部の森田穰君が 2018 年（平成 30 年）5 月 19 日に亡くなりました。78 歳でした。2015 年（平成 27 年）卒部 50 年の同窓会には、不調を押して参加してくれました。

森田君は身長 180 cm・体重 100 kg 超の巨漢で、麻生高校出身で柔道部の猛者だったが、歳を食っていて柔道では耐えられないのでテニス部に入部したとのことだった。医進だったので、教養の 1, 2 年生時代に猛烈に練習していた。持ち前の性格で北海道学生庭球連盟の組織化に、尽力されました。北海道の学連の幹事として、地位の確立と強化のために、全国の会議で頑張ったと聞いています。また医学部庭球部の創部にも関わった。

体格からもわかるように、酒豪・美食家で、また家は開業医で裕福だったので、同期や後輩ともども世話になった人は多いと思う。コートに時々顔を出してくれ何かと気にかけていてくれた。駄洒落を連発し、雰囲気をやわらげ、ムードメーカーだった。

医学部だったので 2 年遅れの昭和 42 年卒で、北大医学部放射線科の教官となり、2003 年（平成 15 年）に定年退官（名誉教授）。当時注目されだした、血管造影の研究を始められた。教育の面は放射線技師の養成などに尽くされた。定年後に北海道 IVR 研究所を作り、「IVR の歩んだ道、歩む道」を日本 IVR 会誌 23（2008）に特別寄稿している。

7 月のお別れの会には、能勢先輩と一緒に参列した。現在花形の IVR(Interventional Radiology、画像化治療)の草分けで、関係の医師や放射線技師などが主たる参列者と思われた。IVR（アイ・ブイ・アール）は X 線や CT、超音波などの画像診断装置で体の中を透かして見ながらカテーテルなどで治療するもの。

生者必滅とはいえ、同期の森田君の逝去は寂しい限りです。冥福を祈ります。合掌